

スキルアップグループ ～ 導入時の 学習ポイント ～

- ・ 生徒が将来の自分の生活をイメージする。
- ・ 自立した生活に必要な家事，生活用品，日用品について考える。
- ・ 生徒が日常生活に必要な日用品を考えて品物を選ぶ。

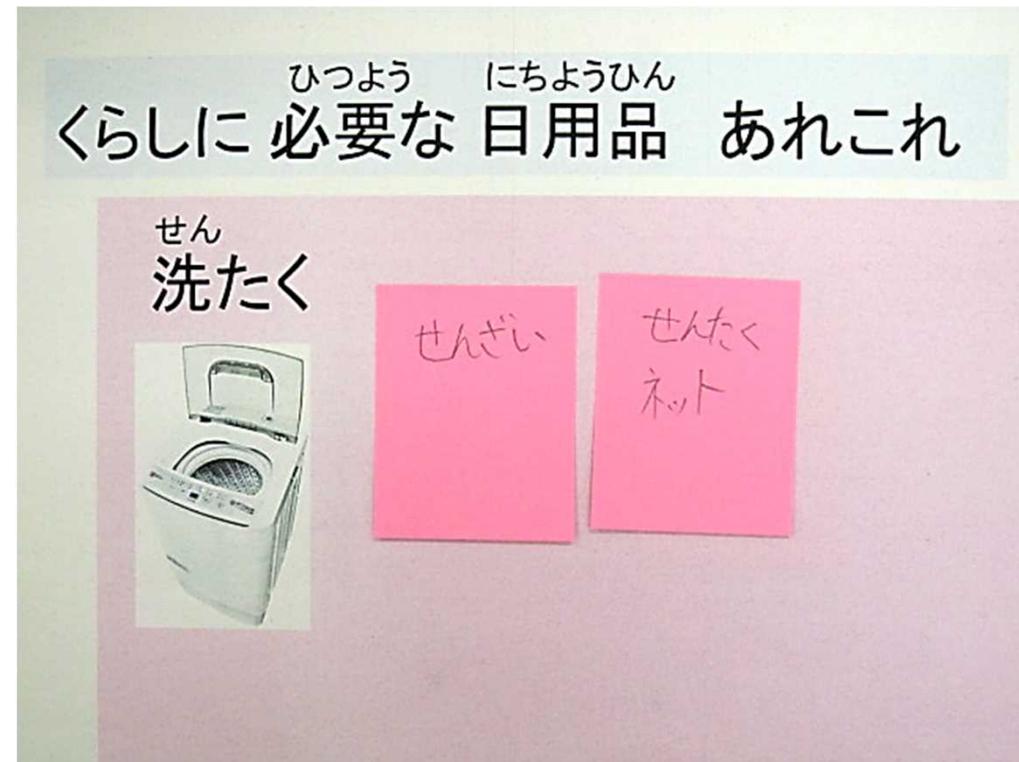
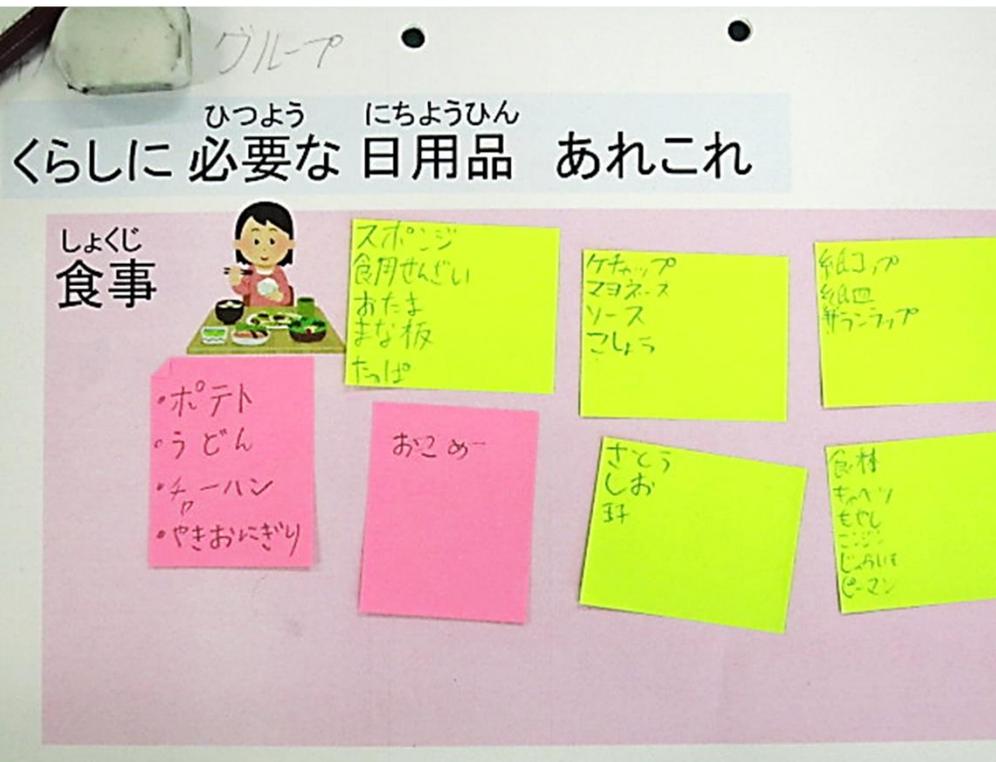
第2時, 第3時の学習活動

1. 将来の一人暮らしをイメージする。
2. 家の中でする仕事を考える。
3. 食事を例に挙げて, 必要な作業や道具・材料について考える。
4. 生活必需品・日用品について知る。
5. 計画的なお金の使い方を学習することを確認する。
6. 話し合い活動: 「毎日の生活に必要な日用品って何だろう?」

## 5 スキルアップグループ

## 実際の様子と授業改善

### 第2時, 第3時の実際の様子



日用品について意見を出し合う話し合い活動  
(付箋紙に書いてワークシートに貼ってみる)

第2時, 第3時

## 授業の見直し・改善点

生徒が家事に必要な作業や必需品・日用品について理解を深めること。



店舗での下調べに十分に時間をかける。 ( 校外学習を2回行う )

第4時～第7時の学習活動

1. コンビニエンスストアで販売される日用品の種類や価格を調べる。
2. 家電量販店で販売される日用品の種類や価格を調べる。
3. 予算内で買うことができる商品を選んでおく。
4. 税込み価格の表示を確認する。
5. 購入品の合計金額を計算して、予算内で買えるか確認しておく。

第4時～第7時の 実際の様子



家電量販店で商品の種類や  
価格をリサーチする生徒

第4時～第7時

授業の見直し・改善点

生徒は購入予定の商品価格と残金を計算しながら、日用品を選択できた。



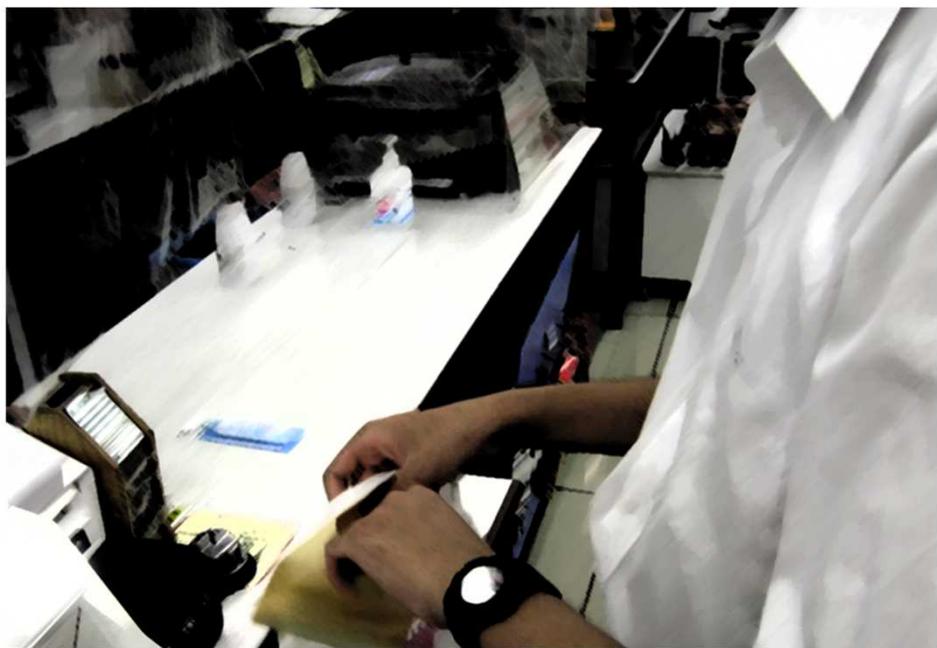
収入と支出についての学習・収支報告書の作成を取り入れた。

第8時, 第9時 (研究授業) の学習活動

1. 教師から買い物の活動費を受け取り, 領収証に記名して提出する。
2. 日用品を買いに行く。
3. セルフレジの操作・対面レジでのやりとり。
4. お釣りとレシートを各自で保管する。
5. 収支報告書を作成する。

買い物 活動

第8時, 第9時の 実際の様子



コンビニエンスストアの  
セルフレジ



家電量販店の対面レジ

第8時, 第9時 (研究授業)

## 授業の見直し・改善点

1. 活動費を受け取った生徒が領収証を提出する。
2. 生徒が収支報告書を作成して, 残金を返金する。

## 5 スキルアップグループ

## 実際の様子と授業改善

第8時・第9時 (研究授業)

生徒が領収証を提出する





## スキルアップグループ 生徒q (家庭 高1段階)

日常生活に必要なものを理解し，予算内に購入するために必要な情報を偏りなく収集して整理，比較検討し購入する。

ア (知識・技能)	毎日の生活やタブレット端末での検索，日用品の具体的な商品などを知った。
イ (思考力・判断力・表現力)	タブレット端末での検索や教師への質問をし，店内の品揃えもよく確認をして購入店舗などを計画した。
ウ (主体的に取り組む態度)	日用品と考える項目の中から幅広く品物を購入した。

## スキルアップグループ 生徒q (数学 高1段階)

レシートに記載してある金額を見ながら，もとのお金から購入したものの総額や残金の見通しを立てながら実際に計算し，収支報告書に記載することができる。

ア (知識・技能)	レシートから収支報告書に転記する項目が分かった。
イ (思考力・判断力・表現力)	レシートの合計，お釣りの金額を読み取り，実際の釣り銭を計算して確認をした。
ウ (主体的に取り組む態度)	友達の問いかけに応じ，レシートの記載や品物についてやりとりをした。

## スキルアップグループ 生徒q (国語 高1段階)

購入するものの計画やお店での購入時に、話の中心や話したいことがずれないように話の構成を考える。	
ア (知識・技能)	家で使用しているものと比較し、欲しい理由を考えて日用品について意識した。
イ (思考力・判断力・表現力)	購入した商品を、理由を加えて友達の前で説明した。
ウ (主体的に取り組む態度)	計画や購入した商品を、自分から教師に伝え、友達に説明する際に生かした。

1. 生徒が日常生活に必要な家事や日用品について学んだ。
2. 生徒が店舗で実際に日用品の商品や価格を確かめ理解を深めた。
3. 生徒が実際に購入する商品を選び全員が予算内で購入できた。
4. 生徒が自分一人で買い物する経験を仲間と共有できた。
5. 生徒が社会人としての義務や行動を意識した学習に取り組んだ。

## 購入予定の商品が品切れだったため その場で品物を変更した

めあて

き よさん なか ひつよう もの か  
決まった予算の中で 必要な物を 買おう

1	しはら 支払いがスムーズに できましたか？	できた ・ できなかった
2	ざんさん たし 残金を確かめて よさんない こうにゅう 予算内で購入 できましたか？	できた ・ できなかった
3	けいかく そ 計画に沿って かいもの 買い物が できましたか？	できた ・ できなかった
4	おつりとレシートの かんり 管理が できましたか？	できた ・ できなかった
5	ひつよう おう 必要に応じて か もの へんこう 買う物の 変更が ありましたか？	あった ・ なかった
6	けきけきと あいさつ へんじ 挨拶の返事が できましたか？	できた ・ できなかった

学習の振り返り  
ワークシート

1. 生徒が将来の自立した生活をイメージできるような学習を行う。
2. 生徒が収入と支出・生活費の内訳・物価・価格等について学ぶ。
3. 生徒が一人での買い物の経験を重ねて技能を身に付ける。
4. 生徒が節約や貯蓄を意識して金銭を管理する力を身に付ける。

金銭についての学びは，家庭科や数学科を始め，各教科の学習へつながる。

今回の学習で見えてきた課題を，生活単元学習だけでなく，各教科の単元につなぐ。

日常生活で必要なものを考える，頼まれた買い物をする，学校で必要な物を考えて買うなどの学習活動

→より生活に密着した学習へ

学びの履歴への記録・活用→スムーズな学部間の引き継ぎ、より生徒の学習課題に応じた単元設定。

授業改善→生徒の理解が進み、主体的な行動が見られた。  
→今後も意識して実施、確かな学びへとつなげていく。

計画段階での案（電子マネーのデモ機を借用しての学習、各家庭から頼まれたものの買い物など）。  
→次年度の計画に取り入れることを検討。

2学年合同の買い物や金銭の実践的な学習→生徒一人一人の成長につながった。→今後、高等部全体で取り組み、段階的な学習を行うことも考えられる。